

第5回 るるぶ会広島 の報告

連休明けの2月24日(火)に、今年度2回目のるるぶ広島会を開催しました。

動きにくい時期なので参加者は6名でしたが、縮景園での梅見と近くのレストランでランチとおしゃべりをゆっくり楽しみました。

前日までのポカポカ陽気から、一転して菜種梅雨を思わせる予報でしたが、幸い解散までは穏やかな良いお天気でした。



梅は、咲き始めを楽しむ探梅、満開を愛でる賞梅、咲き終わりを惜しむ送梅、と3回楽しめます。ちょっと遅かったのか、今回は送梅といったところでしょうか。それでも見事な花をつけている梅の古木や、黄色い菜の花、真っ赤な椿、やわらかなミモザなどが冬枯れの庭園に訪れる春を感じさせてくれました。松やソテツに巻いてあるコモ外し、そしてお待ちかねの桜の開花ももう直ぐです。縮景園と隣接の広島県立美術館の常設展は、65歳以上は嬉しい無料です。





ランチは、縮景園近くのタワーマンション2階の日本料理「三嶋」(さんび)の和モダンな個室でいただきました。平日一日30食限定の週替わり御膳「旬菜御膳」は、手の込んだお料理が少しずつ美しい器に盛られ、赤い実のついたクロガネモチの枝が添えられていました。私たちの年代にちょうど良い味付けと量とお値段で、デザートまで美味しく完食。飲み物も追加して大満足でした。2時間のおしゃべりタイムは、山暮らし、健康、仕事の思い出、来年の目標などで笑いがいっぱい。次回を楽しみに散会しました。

